

す みやざき し すいどうかん
～みんなが住んでいる宮崎市の水道管について～

じしん つよ あんしん あんぜん すいどう
地震に強い安心で安全な水道づくり

上下水道局では、古くなった水道管や避難所となる公共施設などへ送る水道管の更新は地震・災害に強い管を採用して計画的に進めています。

水道水は飲み水やお風呂・料理・洗濯など、私たちの生活に最も必要で大切なものです。もし、何かの原因で水道水が出なければ、水を飲もうと思って蛇口をひねっても飲めません。また、トイレの水も流れないなど生活に影響を及ぼします。

実際、平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」では約 257 万戸が、平成 28 年 4 月に発生した「熊本地震」では約 45 万戸の水道水が出なくなりました。全家庭に水道水が出るまでに、「東日本大震災」では約 5 ヶ月（※津波被災地区等は除く）、「熊本地震」では約 1.5 ヶ月（※熊本市のみ）を要しました。

現在、宮崎市においても「巨大地震」の発生が心配されている状況であり、その対策が課題であると言えます。この対策として、“地震に強い水道管の整備”“古くなった水道管の更新”などに取り組んでいます。



地震・災害に強い水道管を入れています



じしん つよ すいどうかん
地震に強い水道管

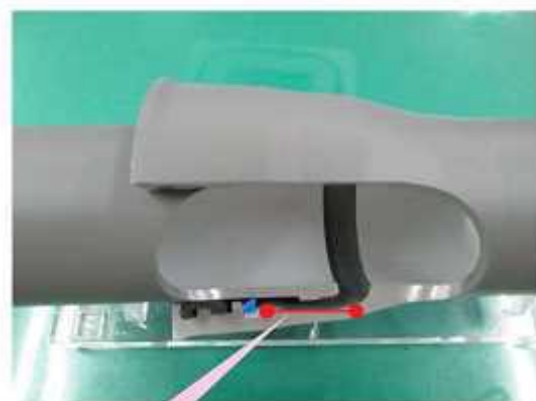
上下水道局では、水道管に被害が生じた場合に、水道水が出ない地域が広範囲におよび、また応急復旧に時間を要することから、丈夫で長もちなくさりのようにつながる管を採用しています。

このくさりのようにつながる水道管については、東日本大震災においても、全く被害が無かったと報告されています。

地震に強い管に入れかえています。



ここの突起が引っかかることによって抜けない。



この幅で伸縮することにより地震に対応できる。



くさりのようにつながる水道管のイメージ図

古い水道管



くさりのようにつながる水道管



くさりのようにつながる水道管の吊り下げ実験状況



伸縮機能と離脱防止機能を備えており、「くさり」のように連なって、地震による地盤の変化に耐えることができます。

イメージ図・写真提供：一般社団法人 日本ダクタイル鉄管協会

